

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 21 日 (20 : 00～20 : 15)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 池田、中村、磯部、中谷、上田、田上、越村、前野、高辻、高橋、廣田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 人	4 人	6 人	3 人	14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1 人	10 人	3 人	0 人	14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2 人	12 人	0 人	0 人	14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 人	9 人	4 人	0 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職員間の連絡ノートやアセスメントシートの配布により、新規ご利用者の情報を職員に提供し、まず必要としている支援を行っている。利用開始間もない時期は、ご利用者同士で交流が持てるように職員が間に入って会話をしたり、積極的にお話を聞いたりして、ご利用者が新しい環境に慣れるよう気遣いをしている。ケアマネジャーを中心として、ご家族との情報共有も電話や連絡ノートを通してこまめに行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

相談から契約までの期間が短い事が多い為、利用開始前に全職員でミーティングを行う事が難しい。そのため、配布された資料に目を通していないと、ご利用者の状態把握が十分にできていない事がある。また、利用開始後、内部会議までの期間が開いてしまうと、ご利用者の言動や気持ち、ケアの方法などについて、職員全員で意見交換をして共有することが出来ない時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・新規ご利用者についての情報は、ケアマネジャーが作成したアセスメントシートを全職員に配布して、利用開始前に職員が目を通して状態把握をする。
- ・利用開始後については、どの職員もご利用者との関わりから得た情報や気付きを記録や職員間の連絡ノートに残し、全職員が出勤時に連絡ノートに目を通すことを徹底し、情報共有をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 21 日 (20 : 15～20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 池田、中村、磯部、中谷、上田、田上、越村、前野、高辻、高橋、廣田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0 人	7 人	5 人	2 人	14 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1 人	4 人	7 人	2 人	14 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1 人	4 人	9 人	0 人	14 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0 人	7 人	5 人	2 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々のかかわりの中で、ご本人のできる事に着目し、ご本人に意向の確認をして了承を得てから対応することを基本としている他、カンファレンスで積極的に意見交換を行う事で振り返りや共有ができ、次の目標を理解してかかわる事が出来ている。「～したい」という言葉を具体的に聞くことができたご利用者に関しては、希望に応え、野球観戦やカラオケボックスへの個別外出を実施することができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の業務に追われ、ご利用者一人一人にゆっくりとかかわる事ができないと感じる事が多く、全てのご利用者の「～したい」という希望に応える事ができていない。また、言葉で表現できないご利用者のしたいことがわからなかったり、会話の中でご利用者の「～したい」という希望を聞いても、記録が不十分で全職員に伝わらずに聞き流されている事がある。全体的に担当するご利用者を「もっと知ろう」という意識が低い為である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・各職員が受け持つ担当ご利用者 (職員 2 名がに対しご利用者 4 名) がどなたであるかを常に認識して、特に積極的にコミュニケーションを図りながら、ご利用者の「～したい」という言動を見逃さずに記録に残す。
・「～したい」という希望を具体的に聞いたら、「どうしたら達成できるか」という視点を持ち、実現できるよう担当ご利用者とケアマネジャーが話し合いケアプランに反映させる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 23 日 (17 : 10~17 : 25)

3. 日常生活の支援

メンバー 池田、磯部、中谷、上田、田上、前野、高辻

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	2人	9人	3人	14人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2人	11人	1人	0人	14人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2人	11人	1人	0人	14人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0人	13人	1人	0人	14人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0人	11人	2人	1人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 日勤職員と夜勤職員との間で、1日2回の口頭での申し送りをを行い、日々変わるご利用者の状態について共有している。ご利用者の気持ちや体調に関しては、その日の勤務者で報告、連絡、相談を行い、変化にも概ね即時的に対応できている。狭い空間の中で職員間のコミュニケーションを大切にしている為である。情報については、パソコンと連絡ノートに残し、その日いない職員にも確実に伝達できるよう職員一同心掛けている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ご利用者の以前の暮らし方は、利用開始時のアセスメントシートに記載されてはいるが、今の状況や支援方法を理解するのに精いっぱい以前の暮らし方を10個以上記憶し把握することが難しい。ご家族と介護職員が直接話をする機会があまりなく、送迎時に顔を合わせてもゆっくりと会話をする時間が取れない為、ご家族からご利用者の以前の暮らし方を直接伺うことが難しい現状にある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 職員が受け持つご利用者担当制を今年度以上に活性化させる為、担当ご利用者の自宅でのサービス担当者会議に担当職員が年度内で1回は参加し、直接ご家族と話をしたり、自宅での環境を実際に見たりする機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 25 日 (20 : 25 ~ 20 : 40)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 池田、磯部、根本、上田、
越村、前野、高辻、高橋、廣田、小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0 人	4 人	8 人	2 人	14 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0 人	7 人	7 人	0 人	14 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0 人	7 人	6 人	1 人	14 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0 人	3 人	9 人	2 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ご利用者との会話を通して自宅での過ごし方やご家族との関係性について伺っている。行きつけの美容院や昔からの友人を把握し、美容院への外出や友人が事業所に遊びに来られるなどの支援ができた。ご家族からは連絡ノートや送迎時に情報を頂き、事業所が直接接していない時間にご本人がどのように過ごしているかの把握に努めている。ひとり暮らしのご利用者については、民生委員の把握をして、必要時報告や相談をしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 今までのご利用者の地域での役割についてはあまり考えたことがなく、理解しきれていない部分がある。また、近所付き合いが希薄になっていることと、認知症のご利用者は外に出歩く機会が少なくなっていることから、地域との関係性を理解するのに難しいケースも多数ある。一人暮らしのご利用者の自宅での過ごし方については、泊まり利用をしたことがない場合、夜間の様子ははっきりとはわからない方もいる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 ・ご利用者のご自宅に行った際、近隣の方に出会った場合は、挨拶・声掛けをして関係性を持つ。
 ・ご利用者との会話に地域の話を取り入れることを心がけ、近隣との関係性や以前地域でのどんな役割を持っていたかの情報を得る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 25 日 (20 : 40~20 : 55)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 池田、磯部、根本、上田、
越村、前野、高辻、高橋、廣田、小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0 人	9 人	3 人	2 人	14 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3 人	7 人	4 人	0 人	14 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2 人	10 人	2 人	0 人	14 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2 人	11 人	1 人	0 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員だけの力だけではご利用者の支援は成り立たない為、配食サービスや介護タクシーを積極的に活用して支援を行っている他、外出付き添いや麻雀、楽器演奏をして下さる地域のボランティアさんが定期的に来所されている。独り暮らしの方のうち、体調面や精神面で不安定さが見られる際は泊まり利用を勧めたり、脱水が心配されるご利用者には訪問から通いに切り替えたりするなど、柔軟な支援を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
柔軟に対応するあまり、どこまで支援するべきかあいまいになっている部分があり、本来ご家族が出来る事を事業所が抱えすぎているのではないかという思いが職員にある。また、ご本人の変化やご家族の要望に応じ、支援内容も日々変化している。変化した項目は、連絡ノートに記入されてはいるものの、情報量が多いため、情報を漏らしてしまう時もある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・ケアマネジャーがご家族のできる事とできない事、その時必要な支援を見極めて、適切なサービスを提供する。
・ご利用者の好きな事ややりたい事を把握して、一緒にして頂けるような近隣のボランティアを呼び掛ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 25 日 (20 : 55～21 : 05)

6. 連携・協働

メンバー 池田、磯部、根本、上田、
越村、前野、高辻、高橋、廣田、小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか？	3 人	4 人	3 人	4 人	14 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0 人	1 人	4 人	9 人	14 人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか？	3 人	5 人	3 人	3 人	14 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1 人	1 人	3 人	9 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネジャーの積極的な呼びかけにより、サービス担当者会議には訪問リハビリや福祉用具の他事業所の他、主治医が出席している。事業所が加入している自治会が主催の行事 (盆踊り大会や餅つき大会) にはご利用者と職員が数名参加し、地域の方と少しずつ交流が持っている。年に 2 回の地域の防災訓練や自治会館の清掃には管理者が参加し、近隣の方に顔を知ってもらい、介護に関するお話をすることができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自治体や地域包括支援センターの会議に出席したことがない職員がほとんどで、限られた時間の中で業務に追われている為なかなか出席の機会がない。また、特定された近隣のボランティアさん以外の地域の住民の方が事業所に訪れる事がほぼない状態である。ゆとりのない人員配置で地域住民を受け入れる体制が整っていない事と、地域の子供達との交流について取り組んだことがない事が大きな理由である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・来年度は地域とのお子とのかかわり作りに取り組み始める。
・10 月のハロウィーンに、職員やご利用者がお菓子の準備や変装をして、地域の子供を事業所に招待する事業所開放型の大規模なイベントを計画、実施する。
・ハロウィーンに向けて、イベント前に近隣小学校や幼稚園に足を運び、ご挨拶し了解を得る。登下校中の小学生には事前にチラシを配ったり、挨拶をしたりする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 30 日 (18 : 00 ~ 18 : 10)

7. 運営

メンバー 池田、磯部、根本、中谷、上田、越村、前野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0 人	8 人	4 人	2 人	14 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2 人	10 人	2 人	0 人	14 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2 人	5 人	4 人	3 人	14 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1 人	3 人	7 人	3 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ご利用者やご家族、地域の方から苦情があった場合は報告書を作成、振り返りを行い、対応策について検討後、内部会議にて情報共有して運営に反映している。月に 1 回行う職場内研修に小規模多機能型サービスをテーマとする内容を取り入れ (年 7 回)、その都度事業所のあり方について話をする機会を作った他、管理者と職員との個人面談の際にも意見を聞く機会を設けている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 昨年 10 月に近隣の川沿いの掃除をご利用者と職員が行ったが、地域と協働した取り組みには至っていない。どの職員も日々の業務に追われるあまり、まだ地域や外部に意識を向けられていない事が原因と考えられる。また、事業所のあり方については些細な事でも意見交換はしているが、その話題を事業所のあり方としてとらえていない職員や現状の事業所に満足している為考えたことがないと言う職員がいた。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 ・毎月 19 日に実施している喫茶ひとやすみのうち、上半期に 1 回、地域の方を対象として「ご利用者と一緒に行う健康体操」を計画し、実施する。
 ・管理者やケアマネジャーなど特定の職員が関わるのではなく、内容の検討やポスター作りなど職員で分担して、職員全員で取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 30 日 (18 : 10 ~ 18 : 25)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 池田、磯部、根本、中谷、上田、越村、前野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2 人	11 人	1 人	0 人	14 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1 人	5 人	6 人	2 人	14 人
③	地域連絡会に参加していますか	1 人	1 人	2 人	10 人	14 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1 人	10 人	3 人	0 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
月に 1 回職場内研修を行い、小規模多機能型サービスや身体拘束、個人情報保護などをテーマにして多くの職員が参加している。職場外研修に参加した職員からは、内部会議の際に研修内容の報告が他職員に向けて行われ、研修内容の共有をしている。リスクマネジメントについては、担当職員を中心として、環境整備や事故・ヒヤリハットの対応策について取り組んでいる。日々の会話でも、リスクマネジメントについて意見交換されている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ゆとりのない人員配置により、多くの職員に職場外研修に参加する機会が持てない。研修に関する情報が少ない為、行きたい研修を職員自身が選択することがほとんどなく、上司から指示された研修に参加する事が多い。リスクマネジメントに関しては、ヒヤリハットの提出件数が少ない事が課題である。職員一人一人がヒヤリハットと感じる度合いが異なる事とその重要性の理解がまだ足りない事が大きな原因である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・常勤職員に向けて、行きたい研修内容のアンケートを取って、職員に合った職場外研修を計画的に受講する。
・パート職員については、市内の小規模多機能型居宅介護事業所への見学を年に 1 回程度実施する。
・リスクマネジメントについての職場内研修を年に 1 回行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 30 日 (18 : 25 ~ 18 : 45)

9. 人権・プライバシー

メンバー 池田、磯部、根本、中谷、上田、越村、前野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10 人	3 人	1 人	0 人	14 人
②	虐待は行われていない	11 人	3 人	0 人	0 人	14 人
③	プライバシーが守られている	4 人	8 人	2 人	0 人	14 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2 人	3 人	1 人	4 人	10 人 (4 人未回答)
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2 人	8 人	2 人	2 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内研修により身体拘束や虐待防止、個人情報の管理について周知されている為、全職員の意識がひとつになり、身体拘束・虐待ゼロは徹底されている。具体的には、ご利用者の立ち上がりを制限する事の無いよう、ご本人の意向に合わせて歩行介助をしたり、職員が付き添ったりしている。入浴時、同性職員の介助を希望されるご利用者には同性職員が対応している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者が過ごしているリビングでご利用者の状態報告を口頭ですてしまったり、記録用紙がご利用者の手の届く範囲に無造作に置かれていたりする時があり、プライバシーや個人情報の管理については不十分である。事業所が狭く相当意識をしないと職員間の会話がご利用者の耳に入ってしまうという問題もあるが、狭いために「このくらいは仕方がない」という気持ちが職員にある為だと思われる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・ご利用者に関する状態報告を口頭でする場合はご利用者がいない場所 (廊下や和室) で行う。
・ご利用者に関する状態報告を早急に行う必要がある場合 (排泄の有無など) の為に、毎日白紙を用意して必要時記入することとする。
・身体拘束や虐待防止、プライバシーや個人情報の管理についての職場内研修を 1 年に 1 回実施。